

緊急時における保護者への引き渡し訓練（報告）

●訓練日時：平成 30 年 9 月 3 日（月）11 時 15 分～12 時 45 分

●天 候：晴れ

●趣 旨：大地震等の発生時に園児の安全を確保し、園児の命を守るため、家庭と連携した引き渡し訓練を行う。

●目 的【教職員】

○園児の安全確保・誘導の仕方など自分の役割を各自が判断・理解して動く。

○確実に保護者に引き渡しが行えるようにする。

【保護者】

○自分の身を守りながらわが子を確実に引き取る方法を理解し、落ち着いて訓練に参加する。

●想 定：11 時 15 分に東海地震注意情報が発表された状況を想定し、11 時 15 分に「れんらくアプリ」から保護者に知らせ、引き取りに来た保護者に園児を確実に引き渡すようにする。

●引き渡し場所：島田幼稚園 各保育室

●参 加 者：全園児・保護者

●報告事項：①訓練完了時間（全員引き渡し完了）：12 時 45 分

②引き渡しは混雑なく確実にスムーズに行うことができた。

●課題と反省：

<教員>

- ・引き渡し後、保護者が子どもの手を放す姿があった。お知らせに訓練の心得を記入するとよい。
 - ・保護者が少し緊張感を感じられず、通常の迎えの延長になっている保護者が見受けられた。次回は、地震発生（サイレンの使用）を想定し、子ども達の避難訓練も同時に実施するとよい。
 - ・非常食（アレルギー食含む）の場所、量の確認も必要。
 - ・教職員の行動マニュアルが必要。
 - ・実際に想定し、園庭で引き渡しをするとよい。雨天・気温の状況に応じて遊戯室で行う。
 - ・自由遊びの時間等保育室に子ども達がいな場合、何処に集合したらよいか。また、点呼はどのようにするか。
 - ・子ども達を保護者に引き渡し、人数が減った時に 2 クラス合同にしてはどうか。
 - ・訓練ということもあり、連絡前の来園や時間をずらしてくる保護者が見受けられた。
 - ・実際に想定した場合、1 クラス一人で対応するのは不安を感じる（例：怪我をした子どもいる場合）。
 - ・降園準備中に園庭に避難する場合、靴の扱いをどうするか（靴が引っかかることもあり得る）。
 - ・避難時に上靴を履く時間があるか心配である（裸足で園庭に避難した方がよいのではないか）。
- 保護者アンケート結果：☆お気づきな点があれば記入してください。

◎実施時期

- ・小学校と同日実施はやめて欲しい。
- ・通常保育日の実施にして欲しい。
- ・半日保育日の実施でよかった。
- ・課外教室がない日が良い。
- ・涼しい時期に実施して欲しい。

◎引き渡し方法

- ・引き渡し時にサインするのではなく、チェックの方がスムーズに行えるのではないかと。また、担当が到着時間と続柄を記入すると時間短縮になるのではないかと。
- ・引き取り時に「クラス、子の氏名、続柄、引き取り者の氏名」の確認を徹底した方がよい。
- ・保護者連絡「れんらくアプリ」のタイトルを具体的にするとよいのではないかと。・各保育室ではなく、バスコースごとの引き渡しがよいのではないかと。
- ・小学校と同日実施で実際の引き渡し時間が把握できた。

◎駐車場および道路の混雑に関するご意見・ご感想を47件いただきました。

- ・近隣および通行する車に迷惑がかかっていた。 ・駐車場の待ち時間が長かった。
- ・交通量が増え、子ども達が通行する時に危険を感じた。

◎その他

- ・訓練開始連絡前に来ている方が見受けられた。それでは意味がないのではないかと。
- ・学年やクラスごと時間差で実施して欲しい。 ・3年に一度の実施でよいのではないかと。
- ・訓練日のみ決定し時間は伝えずに行う。
- ・すぐに迎えに行けない場合の引き渡し、待機場所、対応なども合わせて認識しておきたい。
- ・自転車置場に困った。
- ・兄弟がいる場合の引き渡し順は、保護者に任せて欲しい。
- ・引き渡しが徒歩圏内の方へ徒歩でのお迎えの徹底をした方がよい。
- ・階段での混雑は危険なため、登り、下り階段を決めた方がよい。
- ・幼稚園周辺のハザードマップなど、危険箇所の情報提供がしてほしい。

<訓練状況>

